アンダーコンストラクション フィルムアーカイブ

アンダーコンストラクション・フィルムアーカイブス（略称 UCFA）は、建設の記録映像を研究する任意団体です。

多くの人間の手によってひとつの建物が完成していく様を捉えた映像記録は、誰をもワクワクさせる第一級のドキュメンタリーであり、20 世紀の日本を築いた現場の記録映像は、第一級の歴史資料です。しかし、このような工事映像フィルムは建築関係者でも限られた人しか観たことがなく、一般市民の目に触れることは極めて稀です。しかも建設会社や建築主の倉庫に死蔵されたまま、フィルムが劣化して再生困難となるものも少なくありません。UCFA では建設会社などに働きかけ各社が所有している記録映像のアーカイブづくりや公開の上映会、関係者へのヒアリング、映像フィルムの価値の啓蒙を行っています。

■団体概要

・コアメンバー

吉永健一（建築家、吉永建築ﾃﾞｻﾞｲﾝｽﾀｼﾞｵ）
高岡伸一（建築家、大阪市立大学講師）
磯 達雄（編集者、フリックスタジオ）
山崎泰寛（編集者、建築ジャーナル）
特別ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ
橋爪紳也（建築史家、大阪府立大学教授）

・助成

2010 ～ 20011 年｜（公財）サントリー文化財団

第 1 回ニッポン建設映像祭
・日時：2010 年 8 月 21 日
・会場：ガスビルホール
・プログラム：
　上映作品
　　「大阪瓦斯ビルディング 建設の記録」
　　「新しいまち船場 船場センタービル」
　　「千里山団地建設記録」
　　「大林組と万国博」
　　「東京タワー建設記録」
　　「東京カテドラル」
　オープニングトーク：橋爪紳也（UCFA）
　鼎談：島村昇（元・日本住宅公団）×UCFA

第 2 回ニッポン建設映像祭　昼の部
・日時：2011 年 2 月 12 日
・会場：パレスサイドビル 毎日ホール
・プログラム：
　上映作品
　　「パレスサイド・ビルディング」
　　「国立代々木競技場第一体育館」
　　「蛇の目ミシンビル」
　　「中銀カプセルタワー」
　オープニングトーク：橋爪紳也（UCFA）
　鼎談：藤岡洋保（東京工業大学教授）×UCFA
　見所解説：磯 達雄（UCFA）

第 2 回ニッポン建設映像祭　夜の部
・日時：2011 年 2 月 12 日
・会場：夜の部｜Live House & Theater 新世界
・プログラム：
　夜の部｜
　上映作品
　　「スバルビル誕生」
　　「新宿新都心の建設」
　　「千里山団地建設記録」
　　「東京タワー建設記録」
　　「東京カテドラル」
　アフタートーク：UCFA

第 3 回ニッポン建設映像祭
・日時：2011 年 9 月 3 日
・会場：国立京都国際会館
・プログラム：
　上映作品
　　「空間の創造 ―国立京都国際会館―」
　　「京都ニュースにみる建設映像」
　オープニングトーク：橋爪紳也（UCFA）
　ゲストトーク：松隈 洋（京都工芸繊維大学教授）
　見学会：国立京都国際会館見学会

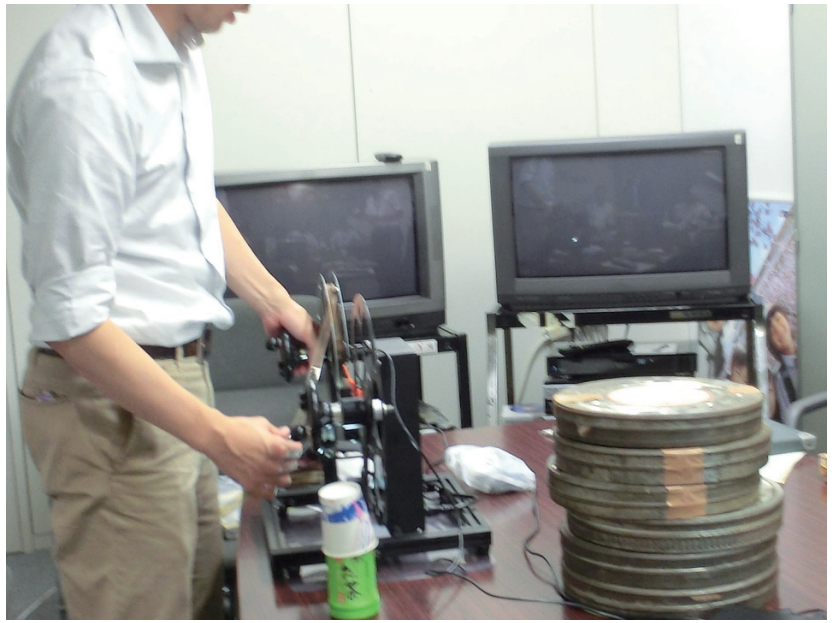
第 4 回ニッポン建設映像祭
・日時： 2011 年 10 月 17 日
・会場：森美術館展示室内
・プログラム：
　上映作品
　　「国立代々木競技場第一体育館」
　　「出雲大社庁の舎」
　　「大阪万博」
　ショートレクチャー：橋爪紳也（UCFA）

第 5 回ニッポン建設映像祭
・日時： 2012 年 4 月 22 日
・会場：松戸市立博物館講堂
・プログラム：
　上映作品
　　「新しい都市」
　　「公団アパートを量産する」
　　「集団住宅建設記録」
　ショートレクチャー：橋爪紳也（UCFA）
　鼎談：植田実（建築評論家）×UCFA
　見学会：常盤平団地見学会

●ニッポン建設映像祭

活動の一環として公開の上映会「ニッポン建設映像祭」を開催。会場は建設映像で取り上げられた建物もしくはゆかりのある建物。高度成長期の建設映像を中心に取り上げ、上映とともに関係する方々をゲストにした鼎談を行っている。上映後、建設映像の重要さを実感したといった感想が多く寄せられた。上映会をきっかけに新たな映像フィルムの発掘や公開などがあったことは大きな成果であった。

・主催：アンダーコンストラクション・フィルム・アーカイブ（UCFA）
・助成：（公財）サントリー文化財団



映像関係会社の協力のもと、企業が所有しているフィルムの内容や保存状態を調査。アーカイブ化やフィルムの補修などについてアドバイスを行う。

高度成長期に作られた建設映像を当時作成に関わったスタッフとともに鑑賞。上映の後に当時の話をうかがう。

●建設映像に関する調査

UCFA では建設映像に関する調査を行っている。建設映像フィルムを所有している企業や団体に赴き、映像の内容や映像の保管状況を調査している。また、建設映像に関わった方に当時の様子をヒアリングしている。